

# 現地農業情報（徳之島） 令和4年10月

## 1 マンゴーの病害虫防除等について研修

9月26日に徳之島町と天城町でマンゴー研修会を開催し、延べ45人が出席した。研修会では、夏秋梢伸長抑制効果のある植物成長調整剤（商品名：ターム水溶剤）の使用時期や使用上の注意点等について研修を行った。また、近年、問題となっている病害虫に対する防除方法についても研修した。



農業普及課では、今後もマンゴーの連年安定生産及び品質向上を目指して支援していく。

## 2 赤土新ばれいしょ「春一番」栽培講習資料を配付

JAあまみ徳之島事業本部及び天城事業本部では、毎年10月にばれいしょ栽培講習会を開催しているが、新型コロナウイルスまん延の影響により出席率が低下していることから、今年は、講習資料を対象者全員に配布した。内容は、8月に開催した定植前栽培講習会の続編として、定植後から収穫までの栽培管理や病害防除のポイント等について、農業普及課が資料をまとめた。

今作の栽培面積は前作よりやや増える見込みであり、農業普及課では、適期収穫と単収向上に向け、重点的に支援していく。

## 3 全共で徳之島産子牛の品質の良さを実証

10月6～10日に開催された第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の第6区（種牛群及び肉牛群の総合評価群）の肉牛群に出品された、徳之島町母間の武元氏生産の「亀吉」（種雄牛「安亀忠」で肉牛群3頭出品（去勢）のうち1頭。南さつま市（有）江籠畜産が肥育。）が好成績を上げ、本県悲願の第6区での初首席獲得に貢献した。



今成績により、徳之島産素牛の品質の良さをアピールできたことで、今後の購買者増加や相場上昇につながるよう、農業普及課も関係者一体となって支援する。

#### 4 東京の果実専門店ではピタヤをPR

10月7日に東京都の果実専門店「新宿高野」によるカルチャースクールの試食会において、生産者代表と一緒に徳之島産ピタヤのPRを行った。当日は、2回で計11人の一般消費者が参加し、ピタヤのカットフルーツを含む4品を堪能した。参加者より、「外国産は味が薄いですが、徳之島産は美味しい」「赤肉種の色素は、着色料の代わりとして安心して使える」などの意見が出された。

農業普及課では、今後ともPR活動を続けながら、生産拡大に向けた支援を行っていく。



#### 5 さとうきびのハカマロール実演会を実施

10月4日に奄美群島さとうきび生産振興対策協議会が徳之島で開催され、群島内のさとうきび関係者30人が参加した。現地研修会ではハカマロール（さとうきび収穫後のハカマをロールベールサイレージにする）の実演会を行い、ビレットプランターの採苗ほ場で、収草からロールまで行い、約10aで4個のロールが完成した。

農業普及課では、ハカマロールによる耕畜連携を進めるため、さとうきび担当者と畜産担当者が連携し、今後とも実証ほ設置と仕組みづくりに取り組んでいく。